

ブラザー工業株式会社
試作技術部

横井 勝彦

昭和 60 年卒業(第 44 回)



変わらないこと、変わったこと

会員の便りの原稿依頼を受け、大学を卒業してからもう 30 年も経ってしまったのかと思ひめぐらせました。正確には学部卒業後に 2 年間は大学に通っていましたが。卒業してから大学の雰囲気あまり変わったという感じがしないのは、10 年ほど前に長久手に引っ越し、毎日名古屋大学の下を歩いて会社に通っているからだろうか。東山会理事会の会合で年に数回は大学に来ていることも関係しているだろうが、一番の理由は研究室のあった工学部 3 号館が、かつてと同じようにそこに存在するのではないだろうか。もちろん新しく建て替えられた建物もあり、それらを見ると大学も様変わりしたなあという気持ちにはなりますが。社会人になってからも友人たちと集まり北部生協で宴会を催したこともあり、大学に来ることもしばしばあったことで大学に懐かしさを感じていないような気がします。

その反対に、仕事関係では初めて配属になったビルが駐車場になったり、20 年前に出向していた工場が更地になっていたり大きな変化があり、時間が経ってしまったなあと感じています。変わらないものがあることで懐かしさがよみがえり、変わってしまったことで寂しさを感じます。

それから、名古屋の夏の暑さは当時と変わらないですね。南部生協のあたりを歩いていると、今と同じように暑かった思い出がよみがえってきます。冬の寒い思い出よりも、夏の暑い思い出のほうが強かったですね。

ここ数年、名古屋大学駅で乗り降りする学生を見て思うことは、夜遅くまで大学で活動している人が多いなあということ。名古屋大学の駅を通過するのが 20 時台から 21 時台の間なのですが、学生さんが多いですね。当時の自分は一日の講義が終われば直ぐに帰宅して 18 時過ぎには家に着いていましたので見ていなかったかもしれませんが、でも、学生さんの雰囲気は昔も今もあまり変わっていないような気がします。

30 年はあっという間に過ぎ去ってしまいましたが、昔から変わらないものが

沢山あり懐かしさがよみがえってくると思います。機会があれば名古屋大学のキャンパスを訪れてみてはいかがでしょうか？